

「不易」と「流行」 誠実・克己・忠恕

～台中第2高級中学校の生徒さんたちが県高に来てくれますよ～

78回生が11月に台湾修学旅行に出発します。その前に・・・10月30日から台中第2高級中学校の生徒さんが本校にやってきます。台湾の高校生活を聞くばかりでなく、こちらからも県立伊丹の高校生活を積極的に伝えながら、国際交流をしてもらいたいと思います。

ということで、今回の通心（信）は・・・ひすい ことろうさんの本（「ニッポンのココロの教科書」）から「未来の作り方～あまり知られていない台湾と日本について～」です。

独立して起業した人。ゼロから立ち上げたわけですが・・・よくよく聞いてみると・・・ゼロからじゃなかったりする。以前一緒に仕事をしたことがある人から仕事をもらって、軌道に乗せてきたというケースがほとんどです。つまり・・・過去の自分が未来の自分のファン作りをしていることになります。

今回は、そんな例を紹介します。2011年3月11日、東日本大震災。この災害で、世界163カ国、ほぼ全世界から支援をいただいたわけですが、突出して義援金が高いところがあります。・・・**台湾です**。台湾からの義援金は・・・なんと・・・200億円以上！しかも・・・そのほとんどが・・・民間からのものだといいます。

台湾は、日清戦争で日本が当時の清から割譲され、1945年の終戦まで日本領とされていました。いわゆる植民地ということですが・・・もし、日本が台湾を搾取の対象としていたならば・・・今回のような義援金は集まらなかったでしょう。日本は、台湾を自国同様にしようとしていた形跡があります。「百年計画」という都市計画に沿って、産業やインフラを築きました。高雄駅などはあまりの素晴らしさに、立て替えの時にも壊されず移築されました。

また、「国家百年の基盤」と言われる教育についても、幼稚園から大学まで作り、義務教育も実施しています。戦前日本のエリートといえば、帝国大学の卒業生でしたが、台湾にも台北帝国大学を作っています。それも大阪や名古屋よりも早く、日本で7番目に作っています。

今でも、台湾は世界で最も親日的なところ。100人中38人が「世界で一番日本が好き」（財団法人交流協会『2009年民意調査より』）と言ってくれるほど。

100人中38人ということは・・・血液型A型の人の割合くらいの高確率です。ちなみに2位はアメリカですが、100人中5人くらいですから、日本はダントツの1位なんです。また、100人中90人が「日本の文化や自然は魅力的、行ってみたい」と言っています。

これは僕らのおじいちゃん、おばあちゃんが、自国同様に台湾を考え、100年先の台湾の未来まで思いをはせたおかげです。その100年後、日本のピンチに200億円を超える義援金が台湾から日本に贈られました。でも、これは僕らのおじいちゃん、おばあちゃんのやってくれたことへのお礼だと思うのです。

現在を作っているのは過去です。これは国家だけではありません。あなただってそうです。

人の例で考えるなら・・・現在と過去には1年以上の時差があると言われています。何事も目に見える形で成果が出るまでには1年以上はかかるのだそう。つまり1年前にやっていたことの成果が現れ始めるのが現在と言うことです。今日何をするか、どんな一日を過ごすか、それが・・・1年後のあなたを生み出します。では、1年後の未来は？という、**今のあなたの成果が出ます。**

ひすい ことろう「ニッポンのココロの教科書」（大和書房）より

以前、台中の生徒が本校で私の授業に参加してくれた時、「八田與一って知ってる？」と聞くと、台中の生徒はみんな知っていましたが、県高生はほとんど知りませんでした。「烏山頭ダム（うさんとうダム）は、台湾の台南市位置するダムである。八田與一の名に因んで「八田ダム」の名でも知られています。ちょっと調べてみませんか？

